

内視鏡の最新検査法解説

よこすか浦賀病院長が講演



阿部病院長が「よくわかるおなかの内視鏡」をテーマに行った講演
＝浦賀行政センター

横須賀

よこすか浦賀病院(横須賀市西浦賀)の阿部裕病院長が28日、浦賀行政センター(同市浦賀)で講演した。病院長は内視鏡について、その種類や最新の検査方法などを紹介。また「胸焼け」など身近な症状を分かりやすく解説した。

よこすか浦賀病院には運転できない。1人で車で来院するのは厳禁」と注意を呼び掛けた。

胸焼けは「逆流性食道炎」などの病名で、重度によって症状が6段階分かれるとし、「放置すれば、命に関わる。暴飲暴食を慎み、気になるようならまめに受診してほしい」と訴えた。

病院長は内視鏡の種類などをスライドで紹介。痛みを伴わないよう工夫され、普及している「意識下鎮静法」について「うとうとする程度の鎮静剤投与で行うので患者への負担が少ない」とメリットを説明するとともに、「検査後、すぐ

約200人が参加した講演会は、浦賀地区社会福祉協議会の「福祉のつとめ」と連動し、同病院が主催した「健康まつり」の一環。まつりでは他に、病院スタッフによる無料の相談会や体力測定などが行われた。

(有吉 敏)